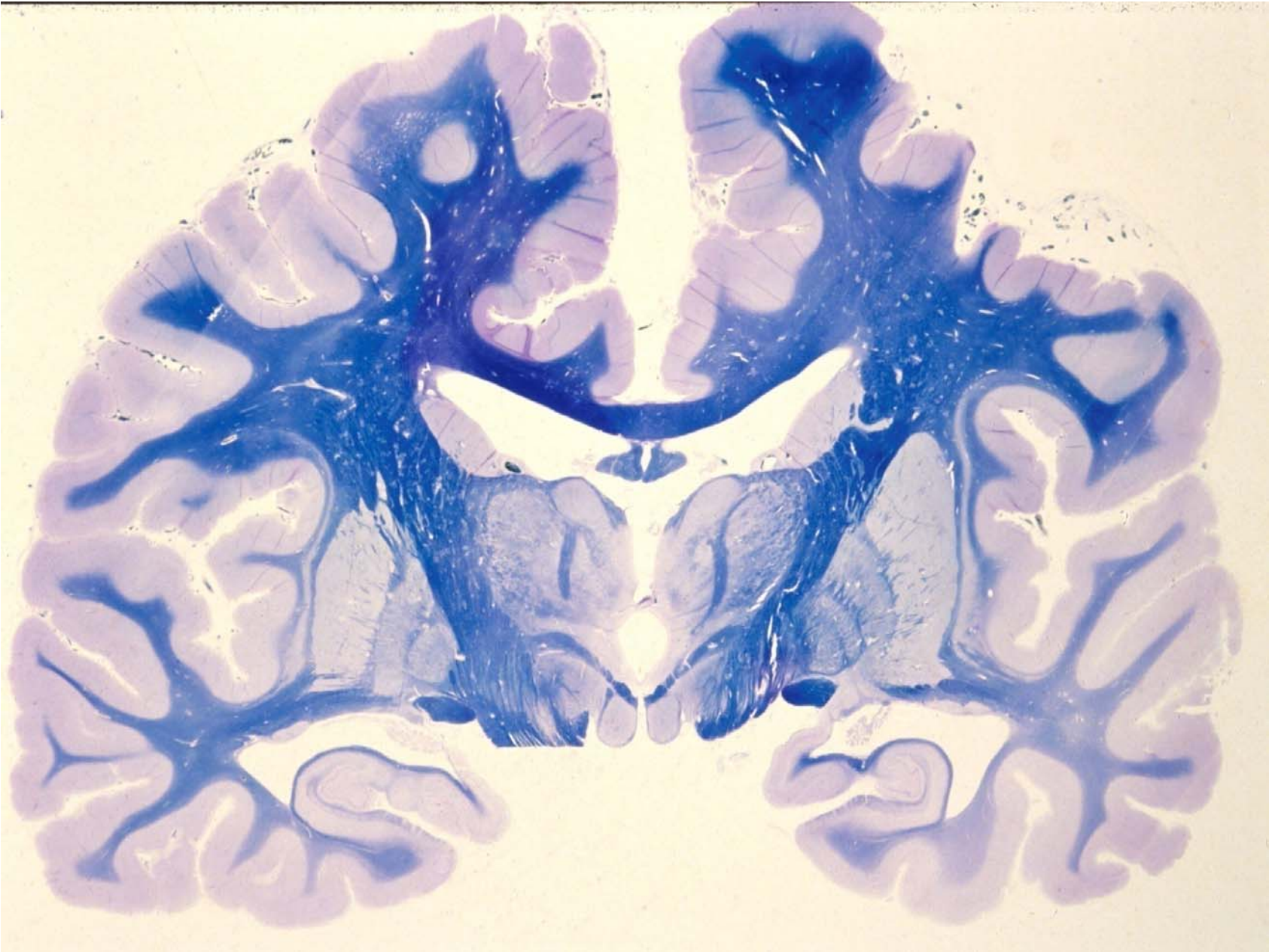


福井県



揺れる子どもの心、揺れる大人の心

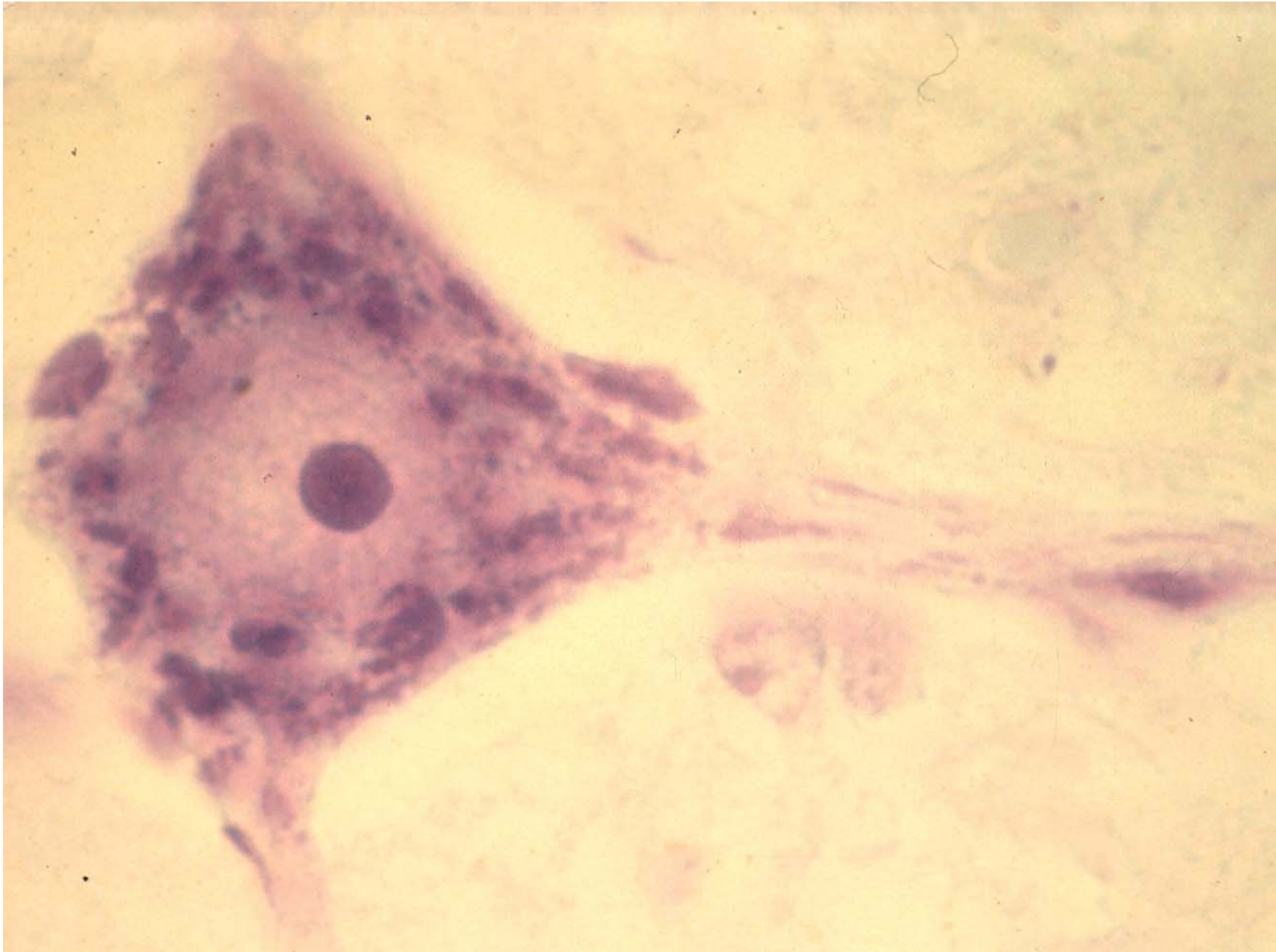


PTSDと脳

PTSDと海馬萎縮

ベトナム退役軍人でPTSDを発症した患者のMRIを撮って海馬の萎縮があることを報告。(1995年、ブレムナーら)

幼児期の性的虐待によってPTSDを発症した患者でも左側の海馬が平均12%小さくなっている。(1997年、ブレムナーら)



思春期・青年期 とは

人はいま一三、四歳から三十前後まで、長い青年期を経てようやく大人になる。

思春期や青年期という用語の使用

思春期or青年期：変貌する身体的生物学的次元にとくに注目するとき。

青年期：心理的次元、社会的次元、さらには実存的次元もふくめて多元的にとらえるとき。

(1977「青年期」笠原嘉著)

思春期・青少年の精神疾患

1. 発達または器質性障害：
発達障害、自閉症スペクトラム障害
注意欠陥多動性障害
てんかん、周期性不機嫌症
2. 内因性：統合失調症圏、そううつ病圏
3. 心因性：解離性同一性障害、摂食障害
PTSD、薬物乱用
4. 人格障害：境界性人格障害
5. その他：行為障害、性同一性障害

子供を考えるときの基本

- 子どもたちが変わったか
- 普通の子が切れるか
- 「～は親が悪い、学校が悪い」か
- リキャップをしようとする事
- 身内だけで解決しようとする事
- 子供の瞳に映っているもの
今、地域社会に何が起きているか

子供たちへの影響

- 社会規範と「心のフィルター」
- かかえ込みと「チャイルドギャング」
- 物質的過保護と「つまらない病」
- 「ダメ」人間
- 地域社会と教育力



ちょっと心配な子供たち

- 不登校と引きこもり
- 理想と現実の解離
- ストレスと強迫症状
- ストレスと自傷、解離

家庭と子供たち

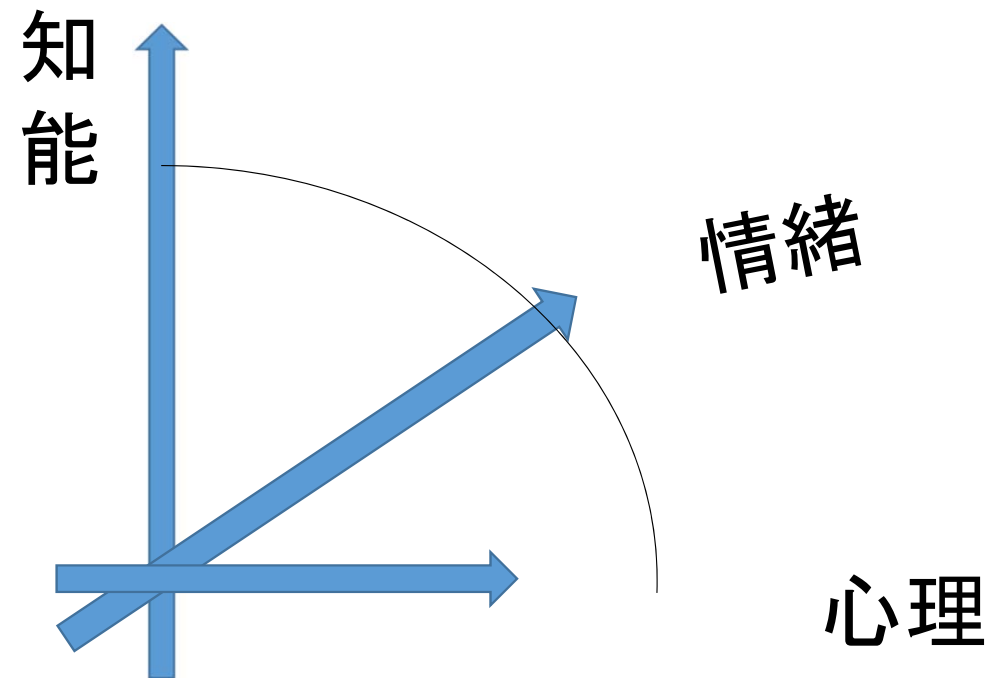
- 家庭として機能しているかどうか
子供たちの思いを受け止める姿勢(体制)ができているか
- DVと児童虐待
- 母になるスイッチ、父になるスイッチが入らない

青少年の触法行為

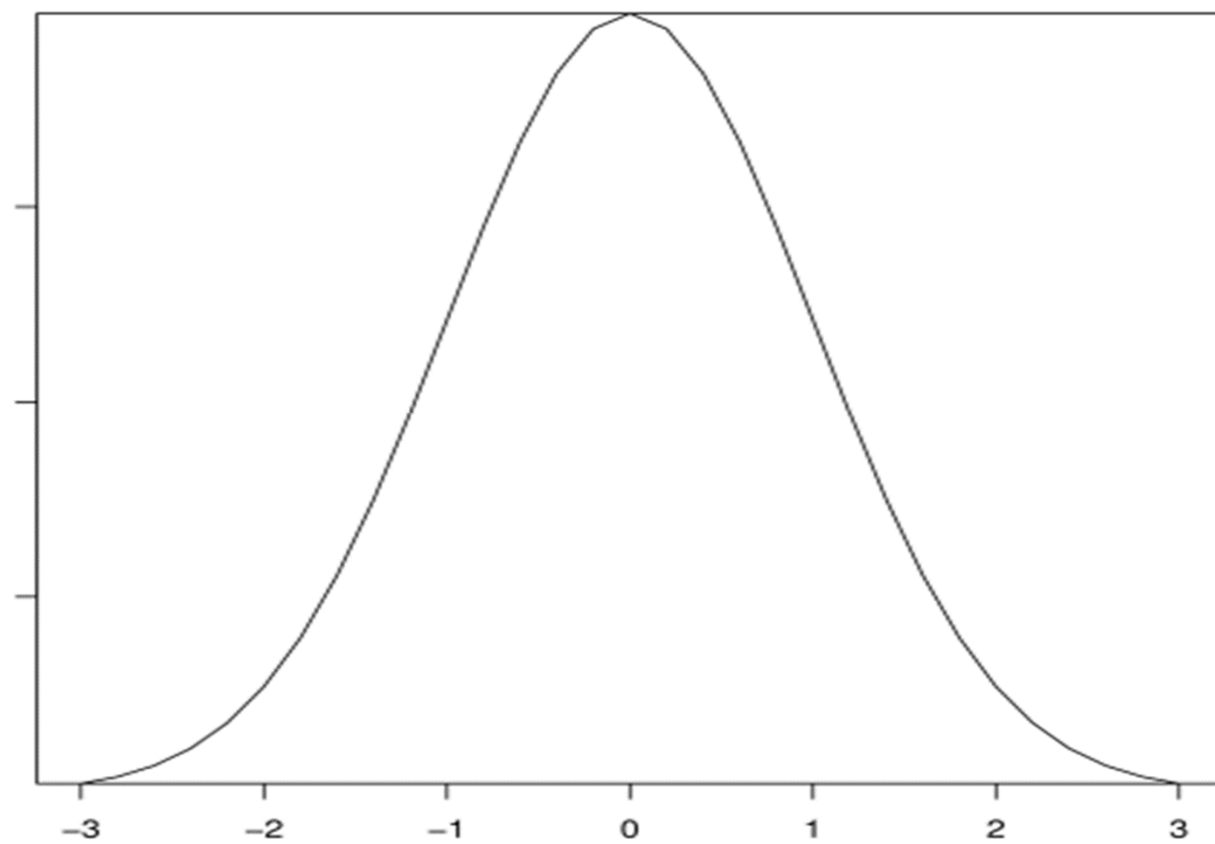
家族による犯罪

- 幼児虐待
実行犯と傍観者
- ドメスティックバイオレンス(DV)
- 介護放棄
- 拡大自殺

発達とその個人差



正規分布



発達障害の診断名

1. 知的発達
知的発達障害(精神遅滞)
2. 心理発達
自閉症スペクトラム障害(ASD)
社会性コミュニケーション障害
3. 情緒発達
注意欠陥多動性障害(ADHD)
4. その他
行為障害
性同一性障害

自閉症スペクトラム障害の診断

1. 社会性の障害
2. 社会的コミュニケーションの障害
3. 社会的イマジネーションの障害
4. 感覚の特異性

結果として

「狭く硬い反復的な活動や興味のパターン」

ローナ・ウイング

学習障害(LD)

「学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的要因が直接の原因となるものではない」

1999年 文部省

学習障害(LD)の下位分類

1. 読字障害(4%)
視空間認知、同時処理などの問題
2. 書字表出障害
形態把握、記憶、目と手の協応などの問題
3. 算数障害(1%)
暗算、用語の概念、図形理解などの問題

ASDに対する対応

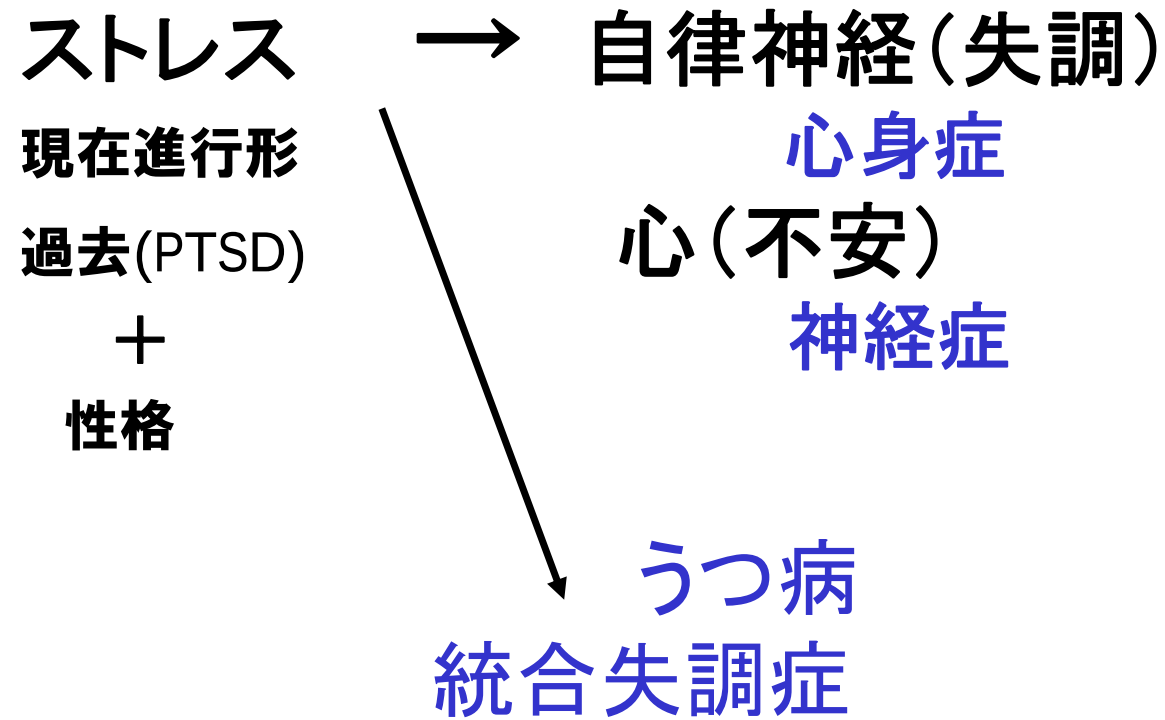
1. 一方的に障害と捉えない
個性か障害か、社会環境の許容度に関係する
2. ASDの特性を延ばし、生かす考えも持つ
3. 大人になった時の就労を見据えた養育が必要
4. 家族に対する支援を忘れずに

サヴァン症候群

イギリスの医師ジョン・ランドン・ダウンは1887年、膨大な量の書籍を1回読んだだけですべて記憶し、さらにそれをすべて逆から読み上げるという、常軌を逸した記憶力を持った男性を報告した。その天才的な能力を持つにもかかわらず、通常の学習能力は普通である彼をidiot savant(賢い白痴)と名付けた。

1. カレンダー計算
2. 映像記憶
3. 書籍、電話帳、円周率
4. 音楽

ストレスの構図



ストレスはどこへ行く

I. 自律神経の失調

心身症 ストレス潰瘍、潰瘍性大腸炎、
円形脱毛症、アトピー、喘息、
免疫機能障害

II. 心の不安

神経症(こだわり病)
強迫神経症、パニック
中毒乱用、摂食障害

問題行動の内容（症状）

- 引きこもり
- 自殺
- 自傷（リスカ）
- 暴力、殺人（個人、集団）
- ストーカー
- その他 摂食障害（拒食、過食、異食）

強烈なストレスに傷ついたとき

- 比較的正常的な反応
逃避、攻撃、心身症
- こだわり(強迫)
- 自傷
急性と慢性
- 解離

解離のメカニズム

期待に答えようとする自分と現実の
解離

挫折という外傷

引きこもるか、解離していくか

DV 問題の深刻さ

- 加害者が「しつけとして」と言い訳する
- 自分がDV被害者と気づかないことがある
自分が悪い、愛情からくる
- 子どもを抱えて逃げられない
うつ状態として発見される
- 実家の両親などから協力を受けられない
「あなたも悪いところがある」「あの人にもいいところある」
「辛抱が足りない」

子どもにとってのDV

- 父親 「お前が俺の言うことを聞かないから子どもにあたる」
- 母親からも
父親になつこうとする子どもに対して
- 不登校
お母さんがいなくなるのでは
- アダルトチルドレン

バタラーの行動と性格傾向

- (1)嫉妬深さ (8)動物や子供への残虐性
- (2)支配的な態度 (9)性的虐待
- (3)せっかちな行動(10)言葉による暴力
- (4)相手へ過剰な期待依存(11)厳格な性役割意識
- (5)孤立化と拘束(12)ジキルとハイド、二重人格
- (6)人前で恥辱を与える(13)脅迫的言動
- (7)傷つきやすさ、神経過敏(14)物にあたる

(女のスペース・おん ブックレット:『男たちはなぜ暴力をふるうのか』
1998)

配偶者からの暴力の防止及び被害者の 保護に関する法律

(DV防止法) 平成13年4月制定

- ・ 暴力をふるう夫が妻などに近づくことを禁じる「保護命令」の発令を裁判所に申し立てできる。
- ・ 婦人相談所の「配偶者暴力相談支援センター」としての取り組み。
- ・ 行政より取り組みが先行していた「民間シェルター（避難所）」への自治体の財政支援。

ストーカー行為等の規制等に関する 法律（ストーカー規制法）

平成12年11月施行

- つきまとい
待ち伏せ、見張り、それを告げる
交際の要求
粗野乱暴な言動
無言電話、汚物など、名誉毀損
性的羞恥心を害する文書など
- ストーカー

問題少年にどう接すればよいか？

- 基本はチームワーク
- 本人に対して
 - 人格障害：明確な枠組みの提示
 - 疾病：的確な治療
- 家族に対して
 - 犯人探しではない、本人にとっての最強のサポーター

青少年疾患の予防法はあるか？

- カウンセリングマインド
傾聴、受容、共感、支持
- 地域サポート体制
村落共同体
- チャイルドギャング
- 趣味、スポーツ

人格障害

人格障害

- 人格障害は精神障害か？
- 責任能力はあるか？

人格障害の定義（診断）

- 内的体験や行動の持続的パターンであって、その個人の文化の期待からきわめて大きく逸脱したもの。
 - (1)認知（例えば、自己、他者、出来事の知覚と解釈の方法）
 - (2)感情（例えば、感情的反応の範囲、強度、不安定性、適切さなど）
 - (3)対人的な機能
 - (4)衝動制御

人格障害の分類

- A、奇妙で風変わりな群
妄想性、分裂病質性、分裂病型
- B、演技的、活動的で不安定な群
反社会性、境界性、演技性、自己愛性
- C、不安におびえている群
回避性、依存性、強迫性、受動攻撃性

人格障害の治療

- 「このような精神療法はわずかな希望を与えるが、成功の保証はない。この問題に対するその他のいろいろなアプローチはもっと期待薄に思われる。」

ストレス対策

言語化と受容の地道な継続

ストレスを癒す

- **言語化**とストレスの気づき
- **受容**(傾聴、受容、共感、、、)

言語化に必要なもの

1) 話し相手

2) 話す時間

受容に必要なもの

1) 聞ける態度

カウンセリングマインド

2) 聞ける時間の余裕



積極的傾聴(active listening)

「積極的に相手の話を聞くこと。相手の立場に立って、考えや気持ちを理解しようと努めること。」

傾聴そのものが、診断（早期発見）であり、治療である。

理解しようとする姿勢が大切

積極的傾聴の基本姿勢

1. 批判的・忠告的にならない。
2. 相手の話の内容全体に耳を傾ける。
3. ことば以外の表現にも気を配る。
4. 相手の言っていることをフィードバックしてみる。
5. 感情を高ぶらせない。

「吸い取り紙」の術

チームとしての積極的傾聴

- カンファレンス、ミニカンファレンス
何か起きたときに、話し合うクセをつける。
- ブリーフィングとデブリーフィング
これから向かうとき。
終わって帰るとき。

ストレスを職場に置いて帰宅するために

ストレス対策法

1. ストレスであることに**気付く**こと
ストレスを話題にする
2. 何でも**話す**こと
話し相手がいいますか？
3. **日記**を付けてみること
4. **スポーツ**や**趣味**を持つこと

**1日30分(以上)は自分のために
ストレスのない時間を**

アサーション・トレーニング (Assertion training)

自分・相手の人権 (アサーティブ権) を尊重した上で、自分の意見や気持ちをその場に適切な言い方で表現出来るようにするトレーニング。

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より

対応の3つのパターン

a. 攻撃的

自分の事だけを考えて、相手を見殺しにして自分を押し通す。

b. 受け身的

自分を抑えて相手を優先し、自分の事を後回しにする。

c. アサーション

自分を大切にすると同時に、相手の事も配慮する。

「ひとりで悩まないで！」

**私もあなたのそばに
いますから。」**



いっしょけんめい

新川 和江

いっしょけんめい 泳いだら
いつか 魚に なれますか
尾ひれが生えて すいすいと
沖まで泳いで ゆけますか

いっしょけんめい はばいたら
いつか 小鳥に なれますか
つばさが生えて ゆうゆうと
広いお空が とべますか

いっしょけんめい 背のびをしたら
いつか ポプラに なれますか
みどりの葉っぱを そよがせて
風とおはなし できますか

いっしょけんめい 咲こうとしたら
いつか お花に なれますか
ひかりと水に 愛されて
わたしもきれいに 咲けますか



シンプルグッドバイ (ジム・ミューレ)

サヨウナラ、日本

サヨウナラ……電光掲示板の文字が闇に浮かぶ……。日本人にとって国を挙げての大事業は終わり、メダルは渡され、幕は下ろされた。

だが、雨宿りをしていたら、傘をさしかけてくれた少年。土砂降りの雨の中、自らレインコートを脱いで貸してくれた青年。チップを受け取らないタクシーの運転手。笑顔のエレベーターガール。

……サヨウナラ、美しい親切な国、日本。
私は、この国全体に金メダルを贈りたい。

聞いていただいて
ありがとうございました。

松原六郎

